

# 一般社団法人日本体力医学会定例理事会（2018年11月）議事録

日 時：2018年11月16日（金）午後5時30分～7時30分

場 所：八重洲倶楽部 第2・3会議室

議 長：鈴木政登理事長

出席者：鈴木政登理事長、

西平賀昭、永富良一各副理事長、

碓井外幸常務理事、宇高 潤、小野寺昇、

川原 貴、栗原 敏、後藤勝正、坂本静男、

下光輝一、須田和裕、須永美歌子、武政 徹、

成田和穂、前田清司、和気秀文各理事、

清田 寛、小林康孝、定本朋子各監事

欠席者：大野 誠、勝村俊仁、竹森 重、田中喜代次、

田畑 泉、浜岡隆文、宮川俊平各理事、

井上 茂監事、戎 利光第73回大会長、

徳田修司第75回大会長

## 【審議事項】

### 1. 前回議事録の承認（鈴木理事長）

理事会開催中に各自で議事要旨の内容確認を行い、訂正等がある場合は申し出ていただくこととし、理事会終了後に承認することとした。

### 2. 罰則規定制定の件（鈴木理事長）

2018年7月に診療放射線技師法違反容疑（本学会理事関与）に関する調査委員会が立ちあげられたことに鑑み、倫理委員会において罰則規定を作成することが提案され、作成後に理事会で審議することとなった。

### 3. 会費納入自動引き落とし方式採用の可否の件（武政総務委員長、事務局）

配布資料に基づき、事務局より会費納入自動引き落とし方式について、過去の経緯、現状が報告された。会費納入自動引き落とし方式について、2015年11月20日の理事会において会費収納オプションとして提案されたが、会費納入自動引き落とし方式の導入費用やメリット・デメリットを考慮し、当時採用していた会費納入方法の郵便振替に加え、クレジットカード決済のオプションを加えることが承認された経緯がある旨、報告された。また、過去には、学会支援機構に事務委託している学会で会費納入自動引き落とし方式を採用している学会があったが、費用や会費納入率を考慮した際に会費納入自動引き落とし方式にメリットを感じられず、会費納入自動引き落とし方式を採用しなくなり、現在では会費納入自動引き落とし方式を採用している学会はない旨、報告された。なお、オンライン上で手続き可能な金融機関等、カード決済で継続処理できる収納代行会社が出てきていることから、今後、会費納入自動引き落とし方式を採用できる可能性はあるが、現状では会費納入自動引き落とし方式は採用していない旨の報告があった。本理事会においても、2015年11月20日の理事会において配布された説明資料に基づいて、会費納入自動引き落とし方式に関するメリット・デメリットが報告された。結論として、デメリットとして挙げられる、学会支援機構が会員の銀行の印影と口座の管理を行うことについて、個人情

報の厳重な管理が求められることから困難であることや、会費納入率を上げるためには学会年次大会において会費未納者リストを掲示する方法もあること、3回目の請求書を発行する際に督促状を同封していることを鑑み、これまで通りの会費収納方法である郵便振替、クレジットカード決済で継続運用することが提案され、承認された。

### 4. 選挙管理委員会について

#### （西平選挙管理委員会業務執行役）

配布資料に基づき、選挙管理委員会の構成が提示され、承認された。

委員長：前田清司（筑波大学）

委員：西平賀昭（筑波大学）

委員：須田和裕（東京工業大学）

### 5. 役員選挙日程について（事務局）

配布資料に基づき、2019年に行われる選挙日程について報告がなされた。

理事候補、評議員会長候補及び監事候補の選出等に関わる定款、定款施行細則の改定と役員を選出に関する規程の改定に伴い、次回選挙から「理事・評議員会長・監事」、「理事長・副理事長・常務理事」の選挙を同時に行うことが確認された。監事は理事・評議員会長を兼職できないため、両方に当選した際の確認や、定款、定款施行細則の変更と役員を選出に関する規程の改定後、初めての選挙となることを考慮し、「理事・評議員会長・監事」選挙開票後から内諾期間を一ヶ月間設けていると説明があり、2019年の選挙日程について承認された。

### 6. 日本体力医学会健康科学アドバイザー®新規申請者（追加）について（碓井称号委員長）

配布資料に基づき、日本体力医学会健康科学アドバイザー®の新規申請者8名の氏名リストが提示され、承認された。

### 7. シニア会員新規申請者について（武政総務委員長）

・2019年度日本体力医学会シニア会員新規申請者リストについて

配布資料に基づき、日本体力医学会シニア会員新規申請者1名の氏名リストが提示され、承認された。また、今後は理事会の都度、氏名リストを提示し承認するのではなく、事務局にシニア会員への会員種別変更届が提出され、シニア会員としての条件を満たしていれば、シニア会員として認めることが提案され、承認された。

・シニア会員対象者への通知方法について

配布資料に基づき、シニア会員対象者への「シニア会員のご案内」の通知方法について、シニア会員対象者へメールまたは郵送にて連絡を行うとともに、シニア会員対象者へ通知した旨を学会ホームページに掲載することが提案され、承認された。

## 8. その他

- ・神戸宣言2018について（鈴木理事長）

配布資料に基づき、日本医学会連合「領域横断的肥満症ワーキンググループ」（23学会）に参加し、2018年10月7-8日に神戸にて開催された第39回日本肥満学会で宣言された「神戸宣言2018」について、肥満症の撲滅を目指し、日本医学会連合の中で肥満症と関連する23学会が領域を超えて協働する趣旨である旨、報告された。また、肥満症の治療には、食事療法と運動療法が中心であるが、現在の医学教育において、運動処方や運動療法の基礎となる運動生理学などは全く教授されていない。本学会ではスポーツ医学研修会や学術刊行物の出版を通して、医師・看護師、その他の医療従事者を含めた運動指導者の育成に尽力していく旨、報告された。
- ・健康寿命延伸に寄与する体力医学（仮題）について（鈴木理事長）

配布資料に基づき、「週刊医学のあゆみ」編集部より本学会に“週刊医学のあゆみ”連載企画（3月から掲載開始）の打診があった旨報告され、これまでの本学会年次大会において特別講演、教育講演、シンポジウム等で発表された内容を中心として「健康寿命延伸に寄与するスポーツ医学（仮題）」と題して編集・構成し、医歯薬出版に報告したことに加え、本学会の存在を臨床系を含め、広く医学会にアピールしていきたい旨、意見が述べられた。

## 【報告事項】

### 1. 各種委員会報告

- ・編集委員会（後藤副委員長）
  - ◎JPFMSM投稿規定 [Letters to the Editor] 文言追記 (2018.10.22)
  - ◎投稿状況 (2018.9.1~11.5)

投稿状況について、件数の伸び悩みが見受けられる旨、報告された。また、昨年のJPFMSM、体力科学を合わせた投稿数は86編であるが、本学会理事が関わっているものは20編にも及んでいない状況なので、本学会理事宛てに改めて投稿依頼がなされた。

    - 1) JPFMSM 新規受付8件（前年14件）
    - 2) 体力科学 新規受付10件（前年11件）
  - ◎発行予定
    - 1) 「JPFMSM」誌  
【Vol. 7, No. 6 (2018年11月25日発行)】  
Proceedings 568編
    - 2) 「体力科学」誌  
【Vol. 67, No. 6 (2018年12月1日発行)】  
原著6編
  - ◎その他

11月6日に日本医師会館にて開催された第2回日本医学雑誌編集者会議（JAMJE）ならびに日本医学会分科会利益相反会議合同シンポジウムについて、概要として日本医学会が国際医学編集者会議の定める組織COI（iCOI）およびJCMJE Recommendationsに準拠する形で今後は進められる。特に利益相反について厳しい対応が求められる旨や、日本医学会医学雑誌編集ガイドラインについても利益相反、研究不正について改訂される予定であり、ICMJE Recommendationとの整合性が図られる旨、報告された。これらを受けて本学会としても、投稿規定が厳格になる方向である旨、報告された。また、本会議の報告書は事務局で保管していると報告された。

る旨や、日本医学会医学雑誌編集ガイドラインについても利益相反、研究不正について改訂される予定であり、ICMJE Recommendationとの整合性が図られる旨、報告された。これらを受けて本学会としても、投稿規定が厳格になる方向である旨、報告された。また、本会議の報告書は事務局で保管していると報告された。

### ・渉外委員会（永富委員長）

#### ◎国際交流事業

第75回日本体力医学会大会（鹿児島）における国際交流事業

2020年の国際シンポジウム提案について、11月15日の締め切り時点で2件応募があり、1件を採択した旨、報告された。

#### ◎国内関連学術団体との交流・連携（須田日本スポーツ体育健康科学学術連合運営委員）

東京オリンピック・パラリンピック関連学会への協力

配布資料に基づき、2020横浜スポーツ学術会議において、基調講演、シンポジウムについて提案があれば、11月21日（水）までにテーマ、趣旨、講師を事務局に連絡するよう依頼がなされた。

名称：2020横浜スポーツ学術会議（横浜2020）

会期：（国際会議の開催予定日）

2020年9月8日（火）～12日（土）

会場：パシフィコ横浜ノース  
（横浜国際平和会議場）

テーマ：CONTRIBUTING TO A SUSTAINABLE WORLD

### ・FAOPS2019（第9回アジア-オセアニア生理学会大会）運営委員会（和気委員長）

#### ◎一般演題参加登録について

FAOPS2019の一般演題参加登録が10月9日正午をもって終了し、本学会において積極的に周知を図ってきたこともあり、一般演題応募数1116題（国内752題、国外364題）と、当初目標1000題を超える応募があった。

#### ◎事前参加登録について

11月1日-12月20日 Regular 30,000円

（大学院生 20,000円、学部生 10,000円）

12月21日-2月28日 Late 35,000円

（大学院生 25,000円、学部生 10,000円）

当日参加費 40,000円

（大学院生 30,000円、学部生 15,000円）

#### ◎日本体力医学会・日本生理学会合同企画シンポジウム等について

引き続き準備を行っていく旨、報告された。

### 2. 第73回（福井）大会の報告

（福井大会関係者の欠席により鈴木理事長が代読）

配布資料に基づき、以下の事項について報告がなされた。

#### ◎一般演題数

口頭発表 318演題

ポスター 421演題

計 739演題 (内, 当日取下げ演題25演題含む)

◎参加者数

有料参加者数 1,563名

※事前登録者で, 当日災害等により参加できなかった方も含む

1) 事前登録者数

学会員 (一般) 635名

学会員 (学生) 241名

非学会員 (一般) 41名

非学会員 (学生) 33名 計 950名

2) 当日大会参加者数

学会会員・一般/非会員・一般 442名

学会会員・学生/非会員・学生 171名

計 613名

3) その他参加者

企業展示関係者 約100名 (35社:書籍展示含む)

運営スタッフ 80名

招待者 約20名

◎広告

予稿集広告 12社/団体

HPバナー 1団体

◎単位認定者数

健康運動指導士 152名

実践指導者 18名 計 170名

◎収支決算

支払いを済ませ, 公認会計士の監査を受けているところである。監査終了後, 次回理事会で大会の収支報告をする予定である。

3. 第74回 (茨城) 大会の進捗状況

(前田第74回大会事務局長)

配布資料に基づき, 以下の事項について報告がなされた。

会 期: 2019年9月19日(木)~21日(土)

会 場: つくば国際会議場

テーマ: 元気な人と社会を育むスポーツ医科学の挑戦

参加者数 (見込み): 3,000人

◎大会の進捗状況

1) 2018年10月末時点 (主な事項)

①組織委員会の設置

②POC業者の選定と決定 (JTB)

③大会会場の決定 (つくば国際会議場)

④大会テーマの決定

⑤ポスター・チラシ作成 (第73回日本体力医学会にて公開・配布)

⑥開催趣意書作成

⑦協賛企業の募集開始

◎2018年11月以降 (主な事項)

1) 大会プログラム構成の検討

2) 学会ホームページの開設準備

3) 協賛企業の募集 (継続)

4. 第75回 (鹿児島) 大会の進捗状況 (鈴木理事長)

大会の進捗状況について, 現在, 学会大会事務管理運営代行の業者選定を行なっている旨, 報告された。

会 期: 2020年9月24日(木)~26日(土)

会 場: 鹿児島大学 (共通教育センター, 稲盛会館)

5. その他 (前田編集委員長代理)

11月6日に日本医師会館にて開催されたアメリカ医師会 (AMA)・日本医師会 (JMA) 共同シンポジウムについて, JAMA編集長らがJAMAの歴史, 現状, Network Openの目的, 投稿論文を増やす戦略などについて講演がなされ, 利益相反, データの捏造と改ざん, 盗用の問題などについて注意喚起があった旨, 報告された。